

日本道德教育学会第 102 回（令和 5 年度秋季）大会プログラム

日本道德教育学会会長 永田 繁雄
第 102 回大会運営委員長 椋木 香子

日本道德教育学会会員及び関係各位におかれましては、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

本学会第102回（令和5年度秋季）大会を宮崎大学で開催させていただき運びとなりました。新型コロナの感染状況も不透明な時期ですが、本大会は前回の第101回大会に続き、対面開催を計画しております。多くの会員のご参加をお願い致します。

大会テーマ

よりよく生きるための基盤となる道德性を養う道德教育の充実 —他教科等との関連を見据えた道德科のあり方—

■大会テーマ設定の趣旨

2015（平成 27）年に学校教育法施行規則が改正され、小学校における道德科の全面実施から 6 年、中学校における道德科の全面実施から 5 年が早くも過ぎようとしています。この間、学校現場や道德教育研究の分野では、「考え、議論する道德」への転換をスローガンに、道德授業の改善や質の高い指導法に関する授業研究などに取り組んできました。本大会では、道德科の授業実践をさらに充実させるために、他教科等の他の教育活動との関連を意識した道德科授業や学校での道德教育の取り組みについても広く検討し、事例等を共有・議論しながら、今後の道德科のあり方について、皆様と考えていきたいと思っております。

道德科と学校全体で行われている道德教育との関連を今一度検討することは、「社会に開かれた教育課程」の実現に向けて各学校で行われるカリキュラム・マネジメントとも関連し、学校における道德教育の充実にもつながると考えます。また、他の教育活動との関連を明確にすることは、道德科の要としての役割を改めて確認する機会になるのではないのでしょうか。さらに、昨年度より高等学校で新設された「公共」と道德教育の関連についても学びを深められればと考えております。

【大会概要】

1. 開催日 2023（令和 5）年 11 月 11 日（土）・12 日（日）
2. 会場 宮崎大学（木花キャンパス）
3. 主催 日本道德教育学会
4. 後援 文部科学省、宮崎県教育委員会、宮崎市教育委員会、全国小学校道德教育研究会、全日本中学校道德教育研究会、全国公民科・社会科教育研究会
5. 参加費 会員・一般参加：3,000 円／学部学生：1,500 円
情報交換会費：5,000 円
6. 参加申込 日本道德教育学会のウェブサイト、または下記の二次元コードから本大会のウェブサイト (<https://www.jsme102miyazaki.com/>) にお入りいただき、「大会への参加申し込み」ページからお申し込みください。

大会の参加申し込み期限は、10 月 31 日（火）17：00 までとなります。
なお、大会当日での参加申し込みはできません。事前申し込みにご協力ください。



7. 大会事務局 宮崎大学教育学部 学校教育講座 椋木香子
 〒889-2192 宮崎市学園木花台西 1-1 宮崎大学教育学部
 TEL/FAX 0985-58-7489
 E-mail jsme102miyazaki@gmail.com
 ※問い合わせは原則としてE-mail をお願いいたします。

大会日程

大会 1 日目 2023 年 11 月 11 日 (土)	
12 : 30 ~	大会参加受付 【教育学部講義棟ピロティ】
13 : 30 ~ 13 : 50	開会行事 【教育学部講義棟 L107】
14 : 00 ~ 15 : 10	基調講演：河原国男（宮崎大学教育学部名誉教授） 【教育学部講義棟 L107】 「他教科等との関連」をいかに見据えるか —教育思想史研究現場からの期待—
15 : 30 ~ 17 : 30	ラウンド・テーブル（7 部会） 【教育学部講義棟 1・2 階】
18 : 00 ~ 20 : 00	情報交換会 【宮崎大学学生会館】
大会 2 日目 2023 年 11 月 12 日 (日)	
8 : 30 ~	大会参加受付 【教育学部講義棟ピロティ】
9 : 00 ~ 11 : 50	自由研究発表（各発表：発表 20 分、質疑 10 分）（9 分科会） 【教育学部講義棟 1・2・3 階】
12 : 00 ~ 13 : 30	昼食・休憩
13 : 30 ~ 15 : 50	シンポジウム：他教科等の関連を図った道徳科に関わる実践と今後の展望 【創立 330 記念交流会館コンベンションホール】 司会：渡邊真魚（日本大学） 小学校の実践報告：宇戸勝則（福岡県大野城市立下大利小学校） 中学校の実践報告：坂口瑞穂（宮崎県宮崎市立大塚中学校） 高校での取り組み：飯塚秀彦（長野大学） カリキュラム論の立場から：西野真由美（国立教育政策研究所）
15 : 50 ~ 16 : 00	閉会行事 【創立 330 記念交流会館コンベンションホール】

【2023年11月11日（土）】

■ 開会行事（13：30～13：50） 会場：教育学部講義棟 L107

1. 会長挨拶（永田繁雄・日本道德教育学会会長）
2. 開催校挨拶（新地辰朗・宮崎大学理事）
3. 運営委員長挨拶（椋木香子・日本道德教育学会第102回大会運営委員長）

■ 基調講演（14：00～15：10） 会場：教育学部講義棟 L107

河原国男（宮崎大学教育学部名誉教授）

「『他教科との関連』をいかに見据えるかー教育思想史研究現場からの期待ー」

■ ラウンドテーブル＜7部会＞（15：30～17：30） 会場：教育学部講義棟

第1部会

【教育学部講義棟 L101】

道德教育の未来展望と道德科教育学の構想

企画者：田沼茂紀（國學院大學） 柳沼良太（岐阜大学） 司会者：柳沼良太（岐阜大学）

報告者：田沼茂紀（國學院大學）・押谷由夫（武庫川女子大学）・木下美紀（福岡県福津市立勝浦小学校）・
中野真悟（愛知県刈谷市立朝日小学校）

指定討論者：浅見哲也（十文字学園女子大学） 飯塚秀彦（長野大学）

第2部会

【教育学部講義棟 L102】

道德科におけるカリキュラム・デザインの検討

企画者：幸阪創平（東京学芸大学附属竹早小学校） 司会者：幸阪創平（東京学芸大学附属竹早小学校）

報告者：古見豪基（埼玉県和光市立第四小学校）・丸山 農（学校法人明星学苑明星小学校）・
遠藤信幸（東京学芸大学附属小金井小学校）

指定討論者：永田繁雄（東京学芸大学）

第3部会

【教育学部講義棟 L201】

教材のよさ・特徴を120%活かす道徳授業・教材研究の在り方を考える

企画者：淀澤勝治（兵庫教育大学） 司会者：淀澤勝治（兵庫教育大学）

報告者：杉本遼（東京都足立区立足立小学校）・中野浩瑞（兵庫教育大学附属小学校）・
森岡健太（京都府京都市立桂坂小学校）・清友啓介（兵庫教育大学附属小学校）・
藤本智子（兵庫県小野市立大部小学校）

指定討論者：門脇大輔（立正大学）

第4部会

【教育学部講義棟 L202】

子ども主体の道徳学習とは 一引率型の道徳授業から伴走型の道徳学習へ一

企画者：安井政樹（札幌国際大学） 司会者：安井政樹（札幌国際大学）

報告者：丸岡慎弥（立命館小学校）・谷口雄一（摂南大学）

第5部会

【教育学部講義棟 L301】

「（人間としての）自己の生き方についての考えを深める学習」とは？ ー「深い学び」の実現のためにー

企画者：高宮正貴（大阪体育大学） 司会者：高宮正貴（大阪体育大学）

報告者：杉中康平（四天王寺大学）・磯部一雄（札幌市立あやめ野中学校）・由良健一（尼崎市立潮小学校）・
近野秀樹（立命館慶祥中学校・高等学校）**第6部会**

【教育学部講義棟 L302】

中学校道徳科を充実させるために

企画者：佐々木篤史（弘前大学教育学部附属中学校） 司会者：佐々木篤史（弘前大学教育学部附属中学校）

報告者：鈴木賢一（愛知県弥富市立十四山東部小学校）・大館昭彦（千葉県流山市立南部中学校）

指定討論者：渡邊真魚（日本大学）

第7部会

【教育学部講義棟 L303】

エージェンシーで目指そう『道徳教育の beautiful risk』

一危うさを意識し、想像しつつ生きる子供たちと共に一

企画者：齊藤慎一（東京都杉並区四宮小学校） 司会者：齊藤慎一（東京都杉並区四宮小学校）

報告者：糟谷樹里（宮城県仙台市立北六番丁小学校）・柴田八重子（愛知淑徳大学）・
池原 鉄（那覇市立城岳小学校）・齊藤慎一（東京都杉並区四宮小学校）

指定討論者：走井洋一（東京家政大学）

【2023年11月12日（日）】

■ 自由研究発表＜9分科会＞（9：00～11：50） 会場：教育学部講義棟

（各発表：発表20分、質疑10分）

第1分科会 司会：走井洋一（東京家政大学）

【教育学部講義棟 L101】

9:00～ 9:30 服部圭祐（秋田大学高等教育グローバルセンター）

道徳教育における「作法」の意義－明治期の「作法教育」の発展から－

9:35～10:05 洪山昌雄（宮崎産業経営大学）

道徳理論と道徳教育－カントに即して－

10:10～10:40 寺崎賢一（元都留文科大学）

カント道徳によって＜道徳性＞と＜卓越性＞の区別が可能となり、教材分析の視点も大きく変わってくる

10:45～11:15 平岡秀美（國學院大學栃木短期大学）

ドイツの倫理授業にみる前期・後期中等教育段階での内容的接続：教科書„Leben leben“を手がかりに

第2分科会 司会：中野啓明（新潟青陵大学）

【教育学部講義棟 L102】

9:00～ 9:30 須崎大（一般社団法人マナーエ）

他者理解を深め自己肯定感を育む「犬とのふれあい学習」が子どもに与える価値

－教育課程において、犬を介在する学習を道徳科として実践する意義や効果－

9:35～10:05 松原弘（大阪府和泉市立郷荘中学校）

道徳科の内容項目の関係－「公正、公平、社会正義」はすべての内容項目と関連している－

10:10～10:40 山田貞二（岐阜聖徳学園大学）

カリキュラム・マネジメントを意識したゲスト道徳の在り方－移植教材を例として－

10:45～11:15 古見豪基（埼玉県和光市立第四小学校）

道徳科の学びをより深めるため（目的）の事前学習（予習）の構想とデザイン

11:20～11:50 ○磯部一雄（札幌市立あやめ野中学校） 杉中康平（四天王寺大学）

「動き」のある授業を通して、道徳科における「深い学び」を実現する授業の在り方

－伝記偉人伝『六千人の命のビザ』の実践を通して－

第3分科会 司会：浅見哲也（十文字学園女子大学）

【教育学部講義棟 L105】

9:00～ 9:30 柴田八重子（愛知淑徳大学）

価値観創造とエージェンシー発揮

9:35～10:05 彦阪聖子（大阪府堺市立市小学校）

子どもを幸せにしたい道徳教育－個・仲間としての願いを大切に・道徳の授業を要に－

10:10～10:40 那倉康知（淡路市教育委員会）

本質に迫る道徳の授業づくり

10:45～11:15 丸岡慎弥（立命館小学校）

道徳科における学びはどのように生み出されるのか

11:20～11:50 矢作信行（帝京平成大学）

子供を中心に据えた道徳科の授業構想（2）－生徒による授業カンファレンス－

第4分科会 司会：小池孝範（駒澤大学）

【教育学部講義棟 L201】

9:00～ 9:30 谷口雄一（摂南大学）

教職科目「道徳の理論及び指導法」における「個別最適な学び」と「協働的な学び」

－OPPシートを手がかりに－

9:35～10:05 ○浅部航太（東京学芸大学） 鈴木賢一（愛知県弥富市立十四山東部小学校）

児童は道徳科での学びや成長をどのように捉えているか

－学期末の振り返りにおける発表内容の質的分析を通して－

10:10～10:40 長谷川元洋（金城学院大学）

道徳性の資質・能力と思考レベルのマトリックスによる質問駆動型道徳科授業の評価の試み

10:45～11:15 ○吉田誠（山形大学） 高橋麻衣子（山形大学附属中学校）

ねらいの8類型による課題循環型授業の実践と自我発達段階に基づく評価

－「宝塚方面行き-西宮北口駅」（中2）を用いた協働学習－

11:20～11:50 糟谷樹里（宮城県仙台市立北六番町小学校）

「非抑圧者の教育学」から考える道徳授業のエージェンシー

第5分科会 司会：荒木寿友（立命館大学）

【教育学部講義棟 L202】

9:00～ 9:30 ○杉本遼（東京都足立区立足立小学校） 高宮正貴（大阪体育大学）

価値認識・自己認識・自己展望の学習指導過程－授業実践とその検討－

9:35～10:05 安井政樹（札幌国際大学）

自立した学習者を育てるコンピテンシーベースの授業づくり

10:10～10:40 ○中島征一郎（NPO法人 Grow Up） 安井政樹（札幌国際大学）

道徳授業準備支援ツール「道徳マップ」の可能性の検討

10:45～11:15 尾崎正美（岡山県瀬戸内市立国府小学校）

「授業づくりシート」の活用による授業構想の改善を目指して

11:20～11:50 ○清友啓介（兵庫教育大学附属小学校） 中野浩瑞（兵庫教育大学附属小学校）

泉谷量平（兵庫教育大学附属小学校）

道徳科における効果的な発問づくりの在り方

－自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考えるための発問生成表の開発－

第6分科会 司会：藤井基貴（静岡大学）

【教育学部講義棟 L203】

9:00～ 9:30 三橋和博(徳島県三好市立西井川小学校)

他教科等と関連を意識した道徳科についての考察

9:35～10:05 中野真悟（愛知県刈谷市立朝日小学校）

いじめ防止の生徒指導と道徳科との関連付け

10:10～10:40 谷山優子(神戸女子大学)

子供一人一人のウェルビーイングを追求する学校づくり

－体験、体得、体現で「よりよく生きる力」を育むA小学校－

10:45～11:15 ○坂井親治(元愛媛県西条市立河北中学校) 小島啓明（愛媛県宇和島市立鶴島小学校）

道徳教育は人権教育にどのように寄与することができるか 一道徳科の実践から稽える－

11:20～11:50 齋藤道子（目白大学）

人権教育と道徳教育との効果的融合を図った総合単元的課題探究型道徳学習

第7分科会 司会：白木みどり（金沢工業大学）

【教育学部講義棟 L205】

9:00～ 9:30 松原好広（松本大学）

地域に根ざした地域教材の開発と活用の在り方

9:35～10:05 河野辺貴則（四国大学短期大学部）

「アイヌの人々」を題材にした道徳教材開発に関する視点

－北海道版道徳教材「きたものがたり」の分析を通して－

10:10～10:40 ○高宮正貴(大阪体育大学) 佐々木篤史（弘前大学教育学部附属中学校）

内容項目「国を愛する態度」の検討 ー教材の分析と開発ー

10:45～11:15 山本理恵（千葉県東金市立東中学校）

中学校における専門教科指導にあたる道徳科の影響 ー聞き取り調査を通じてー

11:20～11:50 横山愛（目白大学）

乳幼児期における道徳心の芽生えと規範意識について ー実習生の観点からー

第8分科会 司会：島 恒生（畿央大学）

【教育学部講義棟 L302】

9:00～9:30 佐々木篤史(弘前大学教育学部附属中学校)

誰一人取り残すことの無い道徳授業の実現を目指して

ー特別支援学校における道徳授業の実践を通してー

9:35～10:05 大橋立明（新潟県長岡市立宮内中学校）

中学校特別支援学級における道徳科授業の一考察Ⅱ

10:10～10:40 ○小田桐章希(青森県立青森第二養護学校) 毛内嘉威(秋田公立美術大学)

齊藤大地(宇都宮大学)

知的障害特別支援学校における内面の育ちを促す道徳科の授業

10:45～11:15 澤井史郎(インターナショナルイスラーミヤスクール大塚)

イスラーミヤスクールにおける児童生徒の道徳性育成の課題

11:20～11:50 木野正一郎（東京医療保健大学）

「包括的セクシュアリティ教育」を想定した小単元プログラムの実践報告と考察
－養護教諭養成課程における「教育方法論」のアクティブ・ラーニングを通して－

第9分科会 司会：関根明伸（国土館大学）

【教育学部講義棟 L303】

9:00～9:30 土田雄一（敬愛大学）

多文化共生社会実現に向けた道徳授業の構築を目指してⅢ
－フィリピンでの「四本の木」の協働実践を通して－

9:35～10:05 ○松田憲子（神田外語大学） 土田雄一（敬愛大学）

多文化共生社会実現に向けた道徳授業の構築を目指してⅣ
－韓国の教材・指導方法を基にしたフィリピン実践を通して－

10:10～10:40 長濱博文（桐蔭横浜大学）

ケアとしての防災教育において教授される道徳的価値に関する比較考察

10:45～11:15 杉浦浩（兵庫県神戸市立つつじが丘小学校）

教育基本法「宗教的一般教養」と学習指導要領「畏敬の念」の授業実践と未来への展望
－諸外国の宗教教育・道徳教育から多様性と共生について考える－

■ シンポジウム (13:30～15:50) 会場：創立 330 記念交流会館コンベンションホール

テーマ：他教科等の関連を図った道徳科に関わる実践と今後の展望

司会：渡邊真魚（日本大学）

小学校の実践報告：宇戸勝則（福岡県大野城市立下大利小学校）

中学校の実践報告：坂口瑞穂（宮崎県宮崎市立大塚中学校）

高校での取り組み：飯塚秀彦（長野大学）

カリキュラム論の立場から：西野真由美（国立教育政策研究所）

■ 閉会行事 (15:50～16:00) 会場：創立 330 記念交流会館コンベンションホール

1. 次回開催校挨拶（東風安生・日本道徳教育学会第 103 回大会運営委員長）
2. 副会長挨拶（七條正典・日本道徳教育学会副会長）

会場までのアクセス方法

<宮崎市までのアクセス方法>

■北海道・本州・沖縄方面から---飛行機をご利用ください。

■九州各県から-----飛行機又はJRをご利用ください。

宮崎では、電車・バスの公共交通機関のアクセスが悪いため、宮崎空港から直接、会場にお越しの際は、タクシーのご利用をお勧めします。

<大会会場(宮崎大学木花キャンパス)までのアクセス情報>

①JR 利用の場合

○日豊本線「清武駅」下車:バスもしくはタクシーをご利用ください。

【バス利用の場合】

・宮崎交通バス「清武駅前」バス停より 631 番線「清武方面宮崎大学・大学病院」行をご利用ください。

・清武駅より清武総合支所(徒歩約 6 分)へ移動し、宮崎交通バス「清武総合支所前」バス停より、「まなび野方面宮崎大学・大学病院」行、または、「清武方面宮崎大学・大学病院」行をご利用ください。

○日南線「木花駅」下車:タクシーをご利用ください。

日南線は IC カードが使えません。木花駅で下車される際は、乗車前に切符をご購入ください。

②バス利用の場合 (いずれも「宮崎駅」発「宮崎大学」下車)

○宮崎交通バス 811 番線「木花台方面宮崎大学・大学病院」行

【金額】宮崎駅西 1 番乗り場より約 40 分 630 円 ・宮交シティより約 25 分 500 円

(宮崎駅西 1 番乗り場～デパート前～宮交シティ(17・18 番乗り場)～国富小～木花～木花台入口～宮崎大学)

○宮崎交通バス 822 番線「まなび野方面宮崎大学・大学病院」行

【金額】宮崎駅西 1 番乗り場より約 50 分 660 円 ・宮交シティより約 35 分 540 円

(宮崎駅西 1 番乗り場～デパート前～宮交シティ(17・18 番乗り場)～県立看護大学～清武総合支所前～技術センター前～上木原～宮崎大学)

○宮崎交通バス 832 番線「清武方面宮崎大学・大学病院」行

【金額】宮崎駅西 1 番乗り場より約 45 分 660 円・宮交シティより約 30 分 540 円

(宮崎駅西 1 番乗り場～デパート前～宮交シティ(17・18 番乗り場)～産経大入口～清武駅前～技術センター前～黒坂観音前～宮崎大学)

○宮崎交通バス 835 番線「清武方面くまの熊野経由宮崎大学・大学病院」行

【金額】宮崎駅西 1 番乗り場より約 55 分 660 円・宮交シティより約 40 分 540 円

(宮崎駅西 1 番乗り場～デパート前～宮交シティ(17・18 番乗り場)～産経大入口～清武駅前～技術センター前～黒坂観音前～熊野～宮崎大学)

③タクシー利用の場合

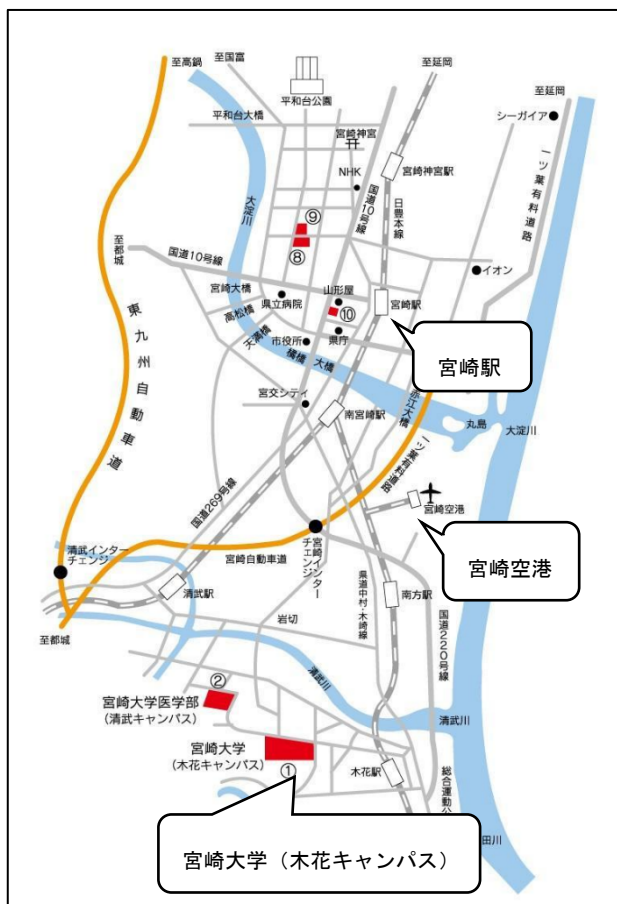
・宮崎空港から:約 20 分 2100～2500 円程度

・JR 木花駅から:約 10 分 800～1000 円程度

・JR 清武駅から:約 15 分 1500～1900 円程度

・JR 南宮崎駅から:約 25 分 2400～3000 円程度

【会場周辺図】



- ① 宮崎大学（木花キャンパス）
- ② 宮崎大学医学部（清武キャンパス）
- ③ 附属小学校・附属中学校
- ④ 附属幼稚園
- ⑤ まちなかキャンパス

※このページの地図は、全体を俯瞰するための略地図となります。
実際の距離は地図アプリ等でご確認ください。

● JR九州の時刻表は、こちらの
二次元コードをご参照ください。



● 宮崎交通のバスをご利用予定のバ
ス時刻表は、こちらの二次元コードを
ご参照ください。



大会への参加にあたって

■申し込み方法

日本道德教育学会のウェブサイト、または下記の二次元コードから本大会のウェブサイトにお入りいただき、「大会への参加申し込み」ページからお申し込みください。

大会の参加申し込み期限は、10月31日（火）17：00までとなります。

なお、大会当日での参加申し込みはできません。事前申し込みにご協力ください。



■参加費等の納入方法

大会参加申し込み期限の10月31日（火）までに、下記の銀行口座に振り込みをお願いします。

宮崎銀行	口座番号	210288	普通
振込先	道德教育学会第102回大会運営委員会 委員長 椋木香子		

振り込み手数料につきましては、各自でご負担ください。

■宿泊先・昼食の申し込み

宿泊先については、会員各自で手配していただきますようお願いいたします。

昼食につきましては、大会開催期間中、学食は営業していません（大会初日は別行事の貸切となっております）。大会2日目の昼食は、「大会への参加申し込み」の際にお弁当（1000円・お茶付き）を申し込みいただくか、会員各自でご用意ください。

■情報交換会

情報交換会の参加費は5,000円になりますので、大会参加費と同時に納入してください。会場は大学構内の大学会館です。

情報交換会終了後は、貸切バス（無料）にて、宮崎駅東口までお送りいたします。宮崎駅周辺のホテルをご利用の方は、バスをご利用ください。また、ご利用される方は、情報交換会の参加申し込みの際にバス利用の申し込みもよろしくお願いいたします。

■ラウンドテーブル及び自由研究発表の会場の設備

パソコンを使用する場合は、各自でご持参ください。全会場とも接続は、HDMI・RGB接続が可能です。変換アダプタ等も各自でご用意ください。

なお、学内の無線LANは学外の方には開放していないため、使用できません。

■その他

- ① 大会第1日目・2日目ともにクロークは設置しません。荷物は各自で管理するようお願いいたします。
- ② 駐車場は教育学部棟付近の駐車場をご利用ください。